

令和7年度 公民館自己評価表

評価 ＝ A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない																
公民館名	年間利用者数 (人)		評価項目	1 施設の管理・運営について						2 公民館事業について						
				①施設の管理体制		②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特色を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援
	令和6年度	令和7年度		施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ（ボランティア育成を含む）の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？
深谷公民館	73,935	96,289	評価	A	A	A	A	A	A	-	A	A	A	A	B	A
			評価の根拠	専門業者へ委託し、定期的に法定点検を実施している。定期点検や利用者からの指摘等により不具合が確認されたため、修繕を行った。	「深谷市地域防災計画」、「災害対策初動マニュアル」のほか、「公民館消防計画」を作成し、避難所開設に係る情報伝達訓練や年2回の消防訓練を実施している。	利用者から問い合わせや苦情について、迅速かつ丁寧に対応した。夜間及び土日でもシルバー人材センターの職員と連携を図り、迅速に対応している。	自治会や地区社協、地区青少年健全育成会をはじめとする地域の諸団体との協力体制が整っており、各種事業の実施の際には、打ち合わせ会議等を随時行うなど、十分な連携が図られている。	施設の有効利用のため、深谷図書館の学習室が利用できない時間帯に空き部屋を学習室として解放し、稼働率の向上に取り組んでいる。	各種教室・講座を実施することで、一般利用の促進を図っている。また、SNSを活用した事業の告知・案内を実施し、広く広報するよう工夫している。	-	各講座終了後にアンケートを実施し、意見や要望を参考にしながら講座の見直しを実施している。	自治会、体育部員、公民館登録団体等、多くの地域住民が参画し企画・運営に協力をいただいている。	深谷七夕祭りの日程に合わせて「浴衣着付け教室」を開催している。深谷中学校吹奏楽部と深谷小学校鼓笛隊・バトンドダンスクラブを招いて「中庭コンサート」を実施している。	家庭教育アドバイザーを講師に招き、小中学校の保護者を対象に「家庭教育学級」を実施した。	自治会を対象とした人権問題研修会を実施している。また、防犯パトロール等、地域住民と取り組み地域の団体の活動がしやすいよう、必要な支援を行っている。	青少年対象事業として「手打ちそば教室」「お菓子作り教室」「お仕事フェスタ協力事業」「カブト虫配布会」高齢者対象事業では「歌声サロン」「スマホ教室」を開催した。
			今後の課題	施設や設備の老朽化がかなり進んでいる。部分修繕は実施しているものの、駆体や空調など計画的に修繕を進めていく必要がある。	休日や夜間でも同様の対応が求められるため、シルバー人材センターの職員と災害時の行動など情報共有を図っていく必要がある。	苦情が発生しないよう、引き続き迅速かつ丁寧な対応に努めていく。	今後も諸団体とのコミュニケーションを十分図りながら、公民館主導とならないよう、円滑な事業の推進に取り組んでいく。	利用者のニーズの把握に努め、稼働率の向上につなげていく必要がある。	引き続き、個人や地区住民の利用を促進できるよう周知などに努めていく。	-	今後も住民ニーズを反映した講座を開催できるよう内容の見直しに努め自主的な活動につながるよう支援していく。	今後も各種事業に地域住民が参画していただけるよう、関係団体等と十分な連携を図り、魅力ある事業を実施する。	今後も地域の伝統文化を継承し、特色を活かした事業を実施していく。	参加者を増やすため学校とPTAと連携を図りながら内容や、開催時期を検討していく必要がある。	他に地域で活動するグループの把握に努め、必要な支援や養成方法などを検討していく必要がある。	公民館利用団体等の専門知識や技能などを学校や地域社会との連携により一層つなげるための仕組みを構築する必要がある。
藤沢公民館	51,002	58,683	評価	B	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	B	A
			評価の根拠	施設の法定点検は、定期的に専門業者へ委託して実施している。今年度は陶芸室のエアコン工事を実施。また、西側のバスケットゴールの支柱が腐食により倒れる危険性があったため撤去した。	深谷市地域防災計画及び災害対策初動マニュアルができています。また、年に2回消防訓練を行っている。	公民館の貸出事務に関しては、公民館貸出基準に基づき全職員が適切に対応しており、特に大きな問題は発生していない。また、苦情や問合せにも迅速な対応に努めている。	藤沢自治会支会をはじめとする各種団体との関係は良好であり、常に情報交換を行い連携を図っている。	多目的室や体育室の稼働率は極めて高い。和室、調理実習室、美術工芸室は用途が限られるため、稼働率が低い状況である。中学生の学習支援として、図書室が満室の場合は空き部屋を開放している。	4か月ごとの予約期間、公民館利用登録団体を利用調整した後は、一般利用者もその期間予約できるようになっている。講座等でも定員に余裕がある場合は、地区外の方でも申込可能である。	令和6年度末で公民館での証明書発行が終了したことについて窓口にてご案内している。また、市役所支所の案内やマイナンバーを活用したコンビニでの証明書発行の周知に努めている。	講座や教室では参加者アンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。これらのニーズも踏まえて、新規講座を計画し開催することができた。	公民館主催事業では、屋外の大会や講座は概ね実施できた。公民館まつりに加え、今年度は体育祭を6年ぶりに開催し、多くの住民に参加いただくことができた。	ガーデニングボランティアの協力により、花が盛んな藤沢地区の特色を生かした公民館の整備を行うことができた。また、老人会の協力により、あさがお展や菊花展も開催することができた。	就学前の幼児の保護者及び小・中学校の保護者を対象とした家庭教育学級を計画どおり行うことができた。	ガーデニングボランティアは公民館の環境美化に定期的に活動している。地域活動グループ養成のための防犯講習会及び防犯パトロールも実施できた。	幼児やその保護者を対象に図書館の協力を得て、お話を開催している。また、老人会との共催により世代間交流事業を実施した。
			今後の課題	現状大規模な修繕計画はないが、体育室の舞台装置が経年劣化で破損する等、細かい部分の破損が複数見受けられたため、日々の細かい点検が求められる。	災害に対する職員間の情報共有及び共通理解を深めておく必要がある。万一来いへ、避難所の設営・運営について、訓練する必要がある。	公民館の貸出について疑義が生じた場合は、財団の公民館調整担当及び他の公民館と連携を図り対応する。	今後も各種団体と情報共有し、連携を図っていく。今後は、各自治会の子ども会などとも連携を図って行きたい。	今後も稼働率が向上するよう各種講座や事業を企画し実施する。引き続き使いやすいうように備品等についても整理に努める。	公民館利用登録団体、一般団体、個人、営利団体の利用調整をスムーズに行う。空き時間であれば、当日の予約・利用にも引き続き対応していく。また、ネットでの予約から決済までが可能になったため、積極的に案内していきたい。	今後も証明書発行で来館された方への市役所支所のご案内やコンビニでの証明書発行についての周知に努める。	今後ともニーズを把握し、内容や実施方法の見直しが必要である。さらに青少年を対象とした講座の充実に努めたい。	今後も住民のかたが気軽に参加できる講座や事業を計画していきたい。また、住民みなさんとの協力をいただきながら体育祭、公民館まつりの準備を進めたい。	学校、児童施設、福祉施設及び医療施設など地域の関係機関との協力により、更なる事業への協力を図っていく。	多くの保護者のかたに参加してもらえるよう、参加者の意見も踏まえ、社会教育指導員とも協議を行い、魅力ある事業を計画する。	自治会とも連携しながら防犯講習会や防犯パトロールを展開する。	各種施設や団体と連携・協議しながら参加の機会や発表の場の確保等に努める。また、お話会では参加人数が減少傾向にあるため、内容を工夫する必要がある、

令和7年度 公民館自己評価表

			評価 = A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない														
公民館名	年間利用者数 (人)		1 施設の管理・運営について							2 公民館事業について							
	令和6年度	令和7年度	評価項目	①施設の管理体制	②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特色を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援		
				施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ(ボランティア育成を含む)の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？	学習の成果を、学校・地域社会との連携に生かすことができるよう支援を行っているか？
幡羅公民館	47,422	53,610	評価	A	A	A	A	B	-	A	A	A	A	A	A	A	
			評価の根拠	職員の日常点検のほか、消防設備や建築設備点検、電気設備、エレベーターの点検など専門的な点検は業務委託で行い、不具合の報告があった場合は、優先順位をつけ修繕を行った。今年度、大規模修繕で外壁タイル工事を行った。	「深谷市地域防災計画」、「深谷市災害時職員参集マニュアル」、「避難所の解説手順書」、「消防計画」など管理体制を整えている。	公民館利用者からの問い合わせや利用日誌から施設の不具合などの報告を受け、適切に対応した。市役所に関する業務などに関しても該当部署への取り次ぎや、案内など適切に行った。	事業の実施にあたっては、自治会や地区の社会福祉協議会・青少年健全育成会、民生児童委員、寿会、婦人会、学校などと協力し、地域の諸団体との連携を図ることができた。	小学生の施設訪問や中学生の職場体験で、公民館の存在や利用方法について地域への周知が進んだ。また、公民館だよりでは一般利用や営利利用が可能であることを継続して紹介し、利用促進につなげている。さらに、今年は七夕飾りや公民館まつりに合わせて外観を大きく装飾し、来館者の関心を高めた。	個人利用では土日や連休、学校が休みの期間などで利用が盛んである。主に体育室や多目的ホールを利用した運動の利用がメインであるが、楽器練習などで音楽室の利用もある。	-	参加者から寄せられた意見を講座内容に反映しながら企画を進めている。住民の声を受けて、今年度初めて実施したGG体験講座は、今年度4回開催するなど好評を得ている。また、親子お菓子作り教室では、1回目の反響が大きかったため急遽2回目を追加し、予約開始から30分で満席となるなど、ニーズに応じた柔軟な講座運営を行っている。	体育事業では自治会選出の体育部員、文化教養部員、公民館まつりでは文化教養部員のほか寿会・婦人会・民生児童委員の協力を得て実施した。また、公民館利用団体より実行委員を募り、実行委員が率先して準備・運営を行った。今年度は七夕飾りを来館者にも参加してもらったり、クリスマスツリー飾りには婦人会と職場体験中の中学生にも協力を得て行うことができた。	入口ロビーでは、国指定史跡である「幡羅官衙遺跡」の出土遺物や絵を展示し、地域の歴史に触れられる環境を整えている。地区体育祭や事業反省会では『ハラ君音頭』を踊ったり、幡羅官衙遺跡のมาสコットキャラクター「ハラ君」を資料等に掲載し、郷土への理解と親しみを深めている。さらに、青少年健全育成事業として「きずな標語」を募集し、優秀作品を選定して公民館で表彰式を行っている。	今年度は、親子で参加できるお菓子作り教室を好評につき2回開催した。子育て講演会の実施や、夏休みには親子陶芸教室、親子バスツアーを開催。さらに、親の学習講座を幡羅小学校で行った。	地域の諸団体を対象に人権指導者研修会を実施。また、自治会と連携して防犯パトロールを行っている。地域団体の活動拠点として施設を提供し、イベントで使用する備品の貸し出しを行った。体育祭の運営には中学生ボランティアが参加した。	青少年事業として、夏休みお楽しみ会を2回、親子お菓子作り教室を2回開催し、さらに「きずな標語」の募集と表彰を行った。子育て講演会や親の学習では、乳幼児を連れた保護者の参加も見られた。公民館まつりでは小中学校の絵画展示や中学校音楽部の発表を行い、障害者支援施設「しくね育成園」の鶴亀工房が出店した。施設訪問では障害サービス事業所の川本園とウッドワーク川本を訪れた。高齢者に向けては、高齢者健康教室、シニアスマホ教室、終活セミナー、初心者向けGG体験講座を4回実施した。	公民館まつりでは公民館利用団体や小中学校の学習の成果の発表の場になっている。また、公民館団体や利用者などの作品を公民館廊下に展示し発表の場を設けている。公民館だよりで、きずな標語の掲載、ロビーに学校だよりの掲示、小学生の描いた絵の展示スペースを設け支援・連携を行った。
			今後の課題	建築から31年が経ち、設備・備品に劣化が見受けられる。事故防止のため点検を継続的に実施し、利用者の安全に努める必要がある。	災害に備え、諸計画の熟知や防災備蓄品の確認、事前の避難所運営の訓練などで不測の事態に備える必要がある。	日々利用者や一般の方からの意見などを適切に対応し、正確で丁寧な対応を心がけていきたい。	公民館事業では、地域住民や地域の諸団体との連携が必要であるので、相互協力のもと、引き続き良好な関係を保ち、円滑な事業の推進に取り組んでいきたい。	ふれあい館の廃止に伴い、利用団体が移行し登録団体の数が増加している。一方、稼働率が低い部屋については、利用促進が引き続き課題である。団体への案内や利用提案を積極的に行い、活用が進むよう働きかけていく。	教室や講座、公民館だよりやHPなどで一般利用が可能であることを周知しさらなる利用の拡大を図っていきたい。	-	今後も住民ニーズを丁寧に把握しながら、さまざまな角度から教室を企画していくことが課題である。老若男女が楽しめる、満足度の高い講座となるよう、内容の充実と新たな企画の検討を継続して進めていきたい。	特に規模の大きな事業では地域住民や地域の諸団体の協力が必要であるため、事業実施の理解を得つつ、継続できる体制を保持していく必要がある。	今後も地域の特色・歴史・文化を再確認しながら、特色を活かした事業を実施していく。	子育て講演会や親の学習の場は、参加すると非常に実りのあるものであるが、仕事などで参加者が集まりづらい課題がある。公民館だよりのほか周知に効果のある方法を検討する必要がある。	地域活動グループの把握や、地域で必要なボランティア活動について把握し、支援方法等を検討していく必要がある。	青少年、高齢者を対象とした事業を実施しているが、障害者、乳幼児の保護者等を対象としたニーズのある事業について今後事業計画に含められるか検討する必要がある。	地域の生涯学習の場として、またその発表の場として、さらにできることを研究していく必要がある。
明戸公民館	23,075	26,371	評価	A	A	A	A	B	A	A	B	A	B	A	B	B	
			評価の根拠	専門業者に委託し、定期的に法定点検等を実施している。なお、職員の巡回や利用者からの指摘により不具合が確認された箇所は、随時必要な修繕等を実施している。	「深谷市地域防災計画」及び「災害対策初動マニュアル」のほか「公民館消防計画」を作成し、例年、利用者を含めた消防訓練を年2回実施している。今年度については、市総務防災課主導のもと、明戸地域の大規模避難訓練を実施した。	利用者からの問い合わせや苦情、設備等の不具合に対しては適切且つ迅速な対応を行っている。	自治会をはじめとする地域の諸団体との協力体制が構築されており、各事業の実施の際には、打合せ会議や反省会を随時行うなど、十分な連携を図っている。	稼働率の低い「調理実習室」や「美術工芸室」を活用した教室や講座を計画するほか、他の各室についても、市が行う研修会や会議等の会場として利用していただくよう働きかけている。	地区住民を対象としたイベントや講座を実施することで一般利用の促進を図っている。なお、図書室、児童室においては地元児童等の利用が活発に行われている。	各証明の発行事務については、R6年度をもって終了した。行政全般に係る問合せ等に対して丁寧な説明を行っている。	公民館利用者や講座参加者の要望や意見を踏まえながら、講座の見直しを検討している。今年度は、前年度同様4つの講座を開講することができた。	公民館の行う事業については、公民館運営審議会で内容を十分に検討の上、円滑に実施されている。事業の企画運営には、自治会や体育・文化部員のほか、利用団体等の地域住民が参画している。	「みんなのふれあい祭り」や「ワナゲ大会」など世代間交流を促進する事業を積極的に取り入れている。また、市内で唯一となる地域住民と中学校との合同による「市民体育祭」を開催している。	保育園及び小、中学校の保護者を対象に「親の学習プログラム」を中心とした家庭教育学級を年2回実施した。	養成講座や研修は実施していないが、地域の活動グループによる花植えや樹木の剪定、防犯パトロール等の活動を公民館だよりに掲載するなど啓発を行っている。	地域の諸団体等と連携し、「みんなのふれあい祭り」や「ワナゲ大会」など世代間交流事業を行っているほか、高齢者を対象とした「スマホ教室」を実施している。	日頃の活動や学習成果を発表する場として「芸能祭」や「美術盆栽展」を開催しているほか、公民館だより等を通じて広く情報発信するなど、必要な対応を行っている。
			今後の課題	経年劣化等により修繕が増えている。予算のことも含め、計画的な施設・設備の更新を検討していく必要がある。	休日や夜間でも同様な対応が求められるため、シルバー人材センター担当者との合同による消防訓練等を実施する必要がある。また、避難所管理等については市総務防災課と綿密な連携・協力体制を継続していく。	引き続き、適切且つ迅速な対応に努めていく。	今後も自治会や諸団体との協力体制を維持しながら、円滑な事業の推進に取り組んでいく必要がある。	定期的な利用に向けて、講座終了には、施設利用の団体化や個人利用に繋がるような支援を行う必要がある。	引き続き、公民館だより等を通じて個人や地区住民等の利便性を推進されるよう周知などに努めていく。	引き続き、適切に対応するため、市役所関係各課との情報交換、連携を図る必要がある。	多様化する住民ニーズに応じた講座を開設するとともに、終了後の自主活動に繋げるような支援を行う必要がある。	今後も多くの地域住民に参加していただけるよう、公民館運営審議会や関係団体等の意見聞きながら必要な見直し等を行っていく必要がある。	引き続き、保育園及び小・中学校と協力しながら家庭教育学級が開催できるよう努めていく。	地域グループに対する研修会等の実施を含め、支援や養成方法など検討していく必要がある。	年齢や性別を問わず幅広い方が参加し楽しめる事業を検討していく必要がある。	今後も学習や練習の成果を発表する機会を積極的に提供する必要がある。	

令和7年度 公民館自己評価表

評価 ＝ A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない																	
公民館名	年間利用者数 (人)		評価項目	1 施設の管理・運営について					2 公民館事業について								
				①施設の管理体制	②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特色を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援		
	令和6年度	令和7年度		施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ(ボランティア育成を含む)の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害児、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？	学習の成果を、学校・地域社会との連携に生かすことができるよう支援を行っているか？
大寄公民館	22,857	25,538	評価	A	A	A	A	B	B	-	B	B	A	B	A	B	
			評価の根拠	施設・設備の点検は専門業者へ委託し実施している。今年度は、高圧受変電設備のコンデンサー交換修繕、火災通報装置交換修繕の他、消防設備点検で指摘のあった場所の修繕を実施した。	市の地域防災計画及び初動マニュアルについては策定済み。また、館長が防火管理者再講習の課程を修了し、防火管理者の選任届を消防署に提出した。それに伴い大寄公民館消防計画も変更し、消防訓練を実施した。訓練で排煙窓が開きずらい箇所が見つかり、潤滑油を付けるなどして改善した。	利用者からの問い合わせについては迅速丁寧を心がけるとともに、シルバーの利用日誌を有効活用し、苦情等の対応に取り組んでいる。	「米寿・白寿のお祝い会」「喜寿のお祝い会」では自治会、地区社協、民生委員の協力のもと実施することができた。また、大寄小との合同運動会や「夏宿～る」では、新たな取り組みを先生方と協議を重ね実施することができた。	稼働率向上のため、今年度新たな取り組みとして「図書室へGO!」「子ども映画会」「米寿・白寿のお祝い会」「喜寿のお祝い会」「七宝焼き教室」「カステラ作り教室」「クリスマスコンサート」等を行った。	最近では、個人や家族で体育室を利用する件数が増えている。ただ、エアコンが無いため夏場の利用率が下がってしまう。	-	今年度は、昨年度のアンケートで希望の多かった「認知症の基本と予防講座」を開催し、多くの参加があった。	例年、事業の企画・立案にあたっては打ち合わせ会議等を開催し、地区役員や出演団体から意見を聴取し、必要に応じて見直しを行うこととしている。特に今年の芸能祭は、「ご存じ水戸黄門」も復活し、「万作踊り」などオール大寄で実施することができた。	今年も地区体育祭は大寄小学校と合同で開催し、その中で地元の伝統芸能「万作踊り」を小学生、保護者、地区住民全員で踊ることができた。また、大寄公民館敷地内にある「清風亭」で今年初めてクリスマス朗読会とミニコンサートを実施した。	家庭教育学級(親の学習)については、保護者が参加しやすいよう、大寄小と連携し、授業参観前日に実施した。また、調理実習室において親子カステラ作り教室を実施した。	自治会を対象とした人権問題講座及び防犯パトロールの実施。また、自主防災組織を対象にAED操作訓練とハザードマップ利用研修を行った。	青少年対象事業では、夏宿～る、図書室へGO、吹矢教室、子ども映画会、親子カステラ作り教室、子ども体験バスツアーの開催。高齢者対象事業では、米寿・白寿のお祝い会、喜寿のお祝い会、健康講座等を開催。大寄地区あそびの日では、子どもから高齢者まで多くの参加者があり大変好評だった。	芸能祭では、公民館利用団体による太極拳、空手、社交ダンス、フラダンス等の発表。趣味の作品展では、絵画、写真、手工芸、書道、七宝焼き、陶芸、短歌、俳句等を2日間展示。絵画には大寄小学校の作品も展示している。
			今後の課題	大寄公民館は、今年建築後27年を迎え、数年後には大規模改修の計画を控える。修繕が無駄な投資とならないよう市役所担当課と連絡を密にし、整備を行っていく必要がある。	災害対策初動マニュアル等、災害時に迅速な行動がとれるよう職員の定期的な訓練が必要不可欠である。	今回、深谷市施設予約システムが新たなシステムに変更となる。利用者に不便をかけないよう職員とシルバーが共通認識をもってシステムを使いこなせるよう対応していく必要がある。	公民館事業は、地域の諸団体と連携を密にし、良好な関係を保つことが重要となるため、日々の働きかけを大切にしていきたい。	工芸室、調理実習室の稼働率が低い。ため、公民館事業の教室等を通じて新たな利用団体の結成に協力していく。	体育室については、エアコンが入れば年間を通して利用が増えると思われる。課題は、他の部屋も利用件数が増えるような取り組みを引き続き検討する必要がある。	-	引き続きアンケートの結果やその時代の住民ニーズを把握し、講座の充実を図っていく。	事業の打ち合わせ会議においては活発な意見が出やすいような場の設定が必要である。また、職員が利用者や住民と積極的にコミュニケーションをとる必要がある。	地域の伝統や文化等、地域資源を再確認し、その特色を生かした事業を検討していく。	家庭教育学級(親の学習)については、大寄小学校と連携し、参加人数が増えるよう検討を進めていく。	地域で活動するグループの把握に努め、必要な支援や養成方法など協力できることがあるか検討していく。	年齢や性別を問わず幅広い方が参加し、楽しめる事業を検討していく。	地域の生涯学習の場として、またその発表の場として、さらにできることを研究していく必要がある。
八基公民館	16,619	16,541	評価	A	A	A	A	B	B	-	A	B	A	B	A		
			評価の根拠	適正な施設維持のため空調・エレベーター・浄化槽・消防設備等の保守点検に加え、外壁打診検査を実施した。また、施設・設備の故障や不具合に対して修繕を実施した。(トイレ修繕、点字ブロック修繕等)	市地域防災計画、災害対策初動マニュアルのほか、施設の消防計画や緊急時職員連絡網等を作成し体制を整えている。今年度も施設消防計画に基づき消防避難訓練を2回実施した。また、施設の消防設備機器の修繕や災害用物資品確認を実施し、危機管理に備えている。	来館者や電話での相談や問い合わせには親切、丁寧な対応を心がけており、特段指摘された事例はない。	自治会とは自治会長会議や地域からの要望等を通じて良好な連携が図れている。また、部屋フウリン草の育成と展示をはじめ、にぼうと会や体育祭、各種スポーツ大会、芸能祭等実施した。どの事業においても、各種関係団体等と連携しながら取り組むことができた。	登録団体や一般利用者等の要望については可能な限り受けられるよう配慮している。また、部屋選びや備品貸出、利用方法について相談を受けるなど利用促進を図っている。	一般利用については、ダンス、体操などに利用されているほか、各種団体のレクリエーション等に利用されている。また体育室は渋沢栄一記念館のサイネージ観覧場所として多くのかたに利用されている。	-	二ズのある講座・教室の開催を行った。講座等の参加者数や参加した方の意見を聞きながら、講座内容の見直しを検討している。	公民館運営審議会委員に地域団体の代表を加え審議いただいている。また、自治会長、体育・教養部員、体育振興会長、民生児童委員など様々な方に事業に関わっていただき意見を聞いている。	八基地区では地域ぐるみで「フウリン草事業」を実施している。また、渋沢栄一のゆかりの地として、命日にあたる11月11日に「にぼうと会」を毎年開催し、今年度は6年ぶりににぼうどの会食も実施した。	豊里公民館と共催で家庭教育学級を開催し、「親の学習プログラム」を中心に、家庭教育に関する学習の機会を提供し、家庭における教育力の向上を図っている。	地域活動団体のイベントの実施にあたり、公民館施設の貸出し等で支援を行っている。ボランティア養成講座は行っていない。	子どもや高齢者を主対象とした「ホテルの観賞会(子どもスポーツ大会)並びに「グラウンドゴルフ大会」を開催した。また、地域の花であるフウリン草の育成・展示に八基小学校児童にも参加いただき事業を展開している。	青色防犯パトロール講習会や防犯研修会を開催し、防犯意識の高揚を図るとともに公民館の車両を貸し出すなど地域防犯活動への支援を行っている。また、災害対策促進協議会の活動支援も行っている。
			今後の課題	施設の老朽化が顕著になって来ており、施設全体の改修等を検討しなければならない時期であると考え。R8に体育室膜屋根法定点検を実施予定。	非常時の避難、誘導など適切な行動ができるよう職員の意識を高めておくことが重要である。また、休日や夜間など職員不在時についてもシルバー人材センター職員に避難誘導方法等の指導が必要である。	引き続き、親切、丁寧、迅速を心掛け対応していく。	今後も諸団体の意見を聞きながら連携を密にして事業に取り組んでいく。	公共施設予約システム変更に伴う運用の見直しが行われたため、利用者へ周知(PR)していく必要がある。	新札発行からまもなく2年を経過するところだが、今もなお団体、個人ともに多くの来館者が訪れている状況であることから、4月以降も記念館との利用分担等の調整を図っていく必要がある。	現在市内公民館では、コンビニ交付サービス普及の観点から、住民票等の証明書発行は行っていない(今後も行わない)ため評価の対象外とする。	マンネリ化とならぬよう新たな講座・教室の開催について検討していく。	今後とも様々な方が事業に参画できるよう、各種団体と密接に連携していくことが重要となる。	地域の歴史・特色・文化等の再認識と事業の展開を継続する。	小中学校のPTAを対象に実施しているが、参加者数の伸び悩みが近年の課題となっている。このことに鑑み、来年度は試験的に平日の開催を予定している。	地域団体やボランティアの情報を把握し、支援の方法等を検討していく。	子ども達や保護者等参加者のニーズを把握し、マンネリ化とならぬよう事業内容の検討を行っていく必要がある。	地域の皆さんに青色防犯パトロール活動を週3日行ってもらっている。パトロール活動の負担は大きい。活動の目的を理解してもらい継続実施していく。

令和7年度 公民館自己評価表

				評価＝A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない													
公民館名	年間利用者数 (人)		評価項目	1 施設の管理・運営について					2 公民館事業について								
	令和6年度	令和7年度		①施設の管理体制	②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特色を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援		
				施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ(ボランティア育成を含む)の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？	学習の成果を、学校・地域社会との連携に生かすことができるよう支援を行っているか？
豊里公民館	22,233	27,020	評価	A	A	A	A	A	-	A	A	A	A	A	A		
			評価の根拠	全館を定期的に点検し、利用に支障がないように心がけている。古い施設のため劣化箇所もあるが、利用者からの通報にも迅速に対応している。	市地域防災計画及び災害時初動マニュアルを配備している。また、消防計画を作成し、年2回の消防訓練を実施して連携体制を強化している。	高齢者の利用が多い地域であり、親身でわかりやすい対応と立ち寄りやすい雰囲気を作心がけている。特に施設利用に対する苦情等はない。	自治会・小中学校・各種関係団体等と協力し合う良好な関係を築けている。人的な協力はもとより、経費の負担についても連携し、地域のコミュニティを盛り上げることができた。	トウモロコシ狩りや県民の日キッズデーなどの新しい事業を行い稼働率の向上を図った。また、各種事業の拡大や事業の入れ替えなどにより、新たな展開を行うことができた。	小中学生が下校後に立ち寄ったり、図書室では学生などが学習に利用したりしている。また七夕飾りやホテルのタペなど一般の方が参加できる事業を行った。更に市内非営利の一般利用状況は2割以上の増加が図れた。	-	毎回アンケート調査を実施し、利用者の意向を収集しながら講座や教室の魅力向上を図っている。また、内容がマンネリとならないようにほかの公民館の情報も参考にして、新しい講座等を展開するよう心がけている。	自治会や関係役員・各種団体の役員に企画段階から実施に至るまで参加いただいている。また、公民館利用者からも事業の意見や情報を得ている。	地域の農家の方にご協力いただき、トウモロコシの収穫体験と試食を行った。また、豊里レクリエーション部にご協力いただき、事業をより楽しく盛り上げていただいた。	毎年度、八基公民館と共催で家庭教育学級を実施し、PTAを中心に参加いただいている。今年度も「親の学習」を実施し、家庭教育アドバイザーを中心とした活発な意見交換が行われた。	豊里東部広場の管理ボランティア活動の事務局として、八基公民館と共同で運営している。また、地域のイベントやまつりには物品等貸し出ししたり、活動を支援している。消防団活動を公民館だよりに掲載している。	関係団体と協力し、ホテルのタペ、子ども講座、菊花展、しめ縄飾り教室、キッズデー、家庭教育学級が実施できた。また、豊里中2年生に、立志式の記念品として『夢七訓』を載せたタオルを贈呈した。	地域住民、利用団体、学校と公民館が連携学習の成果を発表する場として公民館まつりがある。展示の部への参加はあるものの、年々出品数は減少し芸能の部は参加者が少なく、開催できない状況にあるが、体育祭や各レクリエーション事業で参加を促すことが出来ている。
			今後の課題	施設の老朽化により毎年修繕が発生し、一定期間の利用制限になってしまうことがある。利用者にてできる限り影響が少なくなるように対応していきたい。大規模改修にむけて問題点を洗い出していく。	施設は市防災マップの浸水区域に位置しているため、災害時の避難所とはなりえないが、その他の災害の避難所として役割を担えるよう対応する必要がある。	引き続き、利用者にとって親身で分かりやすい対応を行い、苦情等に適切に対応する。	関係団体の構成員も交代があるため、継続的に連携が図れるよう、良好な関係が重要である。	稼働率を高めるため、さらなる教室や講座の開催など引き続き検討する。また、公民館の新たな利用促進に向けて検討していきたい。	公民館事業や公民館だより等で、利用の促進にむけてPRしていく。備品等を更新して、新たな利用方法を図っていく。	-	人気のある講座は引き続き実施しつつ、新たに実施可能な事業を展開していきたい。また、利用実績の少ない若い世代や高齢男性に向けた講座も検討していきたい。	自治会が関係している事業は、関係役員の意見を伺い、緊密な連携を図りながら事業を進めていく。また、公民館利用者などの意見も反映しながら事業を進めていく。	少子高齢化が著しいなか、年齢性別を問わず幅広く参加することができ、世代間が楽しく交流できるような事業を検討したい。	社会教育指導員の協力を得て、参加した方が有意義な時間を過ごせたと感じること、中身のあ内容に努めていきたい。	豊里東部広場の維持管理については、ボランティアの拡大につながるよう、公民館だより等に活動をPRしていく。	少子高齢化が著しいなか、年齢性別を問わず幅広く参加することができ、世代間が楽しく交流できるような事業を検討したい。	公民館まつりの実施が困難になってきているため、公民館の文化教養事業を充実することにより参加者を増やしていきたい。また今以上に学校や地域と連携できるよう協力し、子どもたちも取り込み、地域を盛り上げていきたい。
上柴公民館	94,306	110,659	評価	A	A	A	A	A	-	A	A	A	B	A	A		
			評価の根拠	深谷上柴ショッピングセンター(公共施設、共用部分、その他施設)の運営に係る施設管理規約等による年間業務計画書に基づき、点検整備を実施した。	深谷上柴ショッピングセンターと一体の対策マニュアルや連絡体制表を作成している。ショッピングセンター全体の防災訓練に加え、独自の防災訓練も実施した。	電話、窓口での利用に関する問い合わせには適切に対応できた。電話、要望等は公民館利用日誌等により把握し、速やかに対応を行った。	自治会をはじめとする諸団体と連携し、様々な地区行事を計画どおりに、連携して開催することができた。	軽運動を和室で、音楽や麻雀を会議室でなど支障のない範囲で柔軟に許可した。また、利用調整会議で月5回の申請制限や、多目的について重複した場合の優先基準など、利用機会の拡大を図った。	学生、親子等の団体以外の利用が増加していると感じる。ショッピングセンターを利用するかたからの問合せや利用もあり、一般の利用が図れている。	-	パソコン教室について、ITサポーターと内容を打ち合わせ、ニーズのある内容への見直しを図っている。	地区の諸団体と事業検討会議を行って計画を立て、各事業は共催で実施しており、計画から運営まで地域住民が参画している。	複合施設の立地の特色を生かし、アリオ深谷との連携で、こども七夕かざりを2箇所の催事場において開催した。また、まつりポスター等の展示を行った。上柴まつりでは東都大学と連携し、課外活動として地域交流の場を提供し、地域の特色を生かした事業を実施できた。	小中学生の保護者を対象に「親の学習」を実施した。幼児・保護者を対象に「親子体操教室」を実施した。	地域活動グループ(公民館登録団体)の活動の発表や募集の場としてロビーを提供した。上柴中学校と連携を図り、七夕かざりの短冊デザインや、ふるさと上柴まつりのトートバッグデザインの作製に協力を頂き地域連携の場を住民へアピールできた。上柴まつりでは、深谷市こども会育成連合会と連携し、団体の活動を支援した。また、青少年健全育成会の子ども安全・安心パトロールや、防犯協会の年末防犯パトロールの集合場所、各自治会の総会会場等として施設を無償で提供した。	青少年健全育成会や子ども会、老人クラブなどの団体と協力し「こども七夕かざり」を実施した。幅広い年齢層が参加、交流できる「スポーツレクリエーションフェスタ」を実施した。また、「ふるさと上柴まつり」は老若男女の参加を得て好評だった。	短歌等の公民館だよりへの掲載、公民館登録団体の作品等のロビーでの展示、スポレクや上柴まつりのパフォーマンス発表の場の提供を行った。
			今後の課題	施設・設備の破損、更新箇所の発生が増加しており、適時・適切な修理、更新が求められる。	利用者が多いこと、3Fにあることなど、緊急時の円滑な連絡誘導体制が求められる。休日、夜間でも対応できるよう職員間での情報共有を図っておく。日頃から熱中症の注意喚起、救急セットの拡充など迅速に対応できる体制を整える。	利用登録団体、個人、営利事業者など利用者の立場が様々である。苦情件数は少ないが、引き続き利用者には丁寧に説明していく事が求められる。	分館対抗事業などで、価値観の多様化、高齢化など、参加しない分館も増えている。レクリエーションフェスタという新しい形での開催も実施。既存事業のより良い改善に努めていく。	施設による頻度により偏りがあり、多目的室、体育室など運動系施設のニーズが高いが、解消は難しい。営利利用の拡大に向けた会議室系の利便性向上に努めていく。	引き続き、個人や地区住民の利用が推進されるよう周知などに努めていく。	-	当館では講座系事業としてパソコン教室等に重点を置いているが、その他の講座系のニーズを把握や研究も必要。	公民館事業の企画・運営に積極的に参加する地区住民の掘り起こしや育成が必要。	アリオ深谷の協体制を促進し、より効果的な事業展開に生かしていきたい。	引き続き幼・小・中学校との連携を図りながら意義ある家庭教育を行っている。「親子体操教室」は西幼稚園での開催を検討している。	主導して新規に地域活動グループを養成し立ち上げさせることは、現在行っていないが、既存グループの活動促進に努め、また活動グループの立ち上げ希望者には情報提供や支援を行っていく。地区小学校との更なる地域連携を図るため、事業の模索が必要。	スポーツレクリエーションフェスタでは、老若男女ほか多様な住民がさらに参加しやすい種目を検討していく。他の事業においても対象者が広がるようニーズの把握や内容の改善に努めていく。ポッチャなどの事業を検討中であり、引き続き障害者等のニーズの把握や研究に努めていく。	多岐にわたる団体活動について、できるだけ広く、成果発表の場や活用を図る方法の模索が必要。

令和7年度 公民館自己評価表

評価 = A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない																	
公民館名	年間利用者数 (人)		評価項目	1 施設の管理・運営について					2 公民館事業について								
	令和6年度	令和7年度		①施設の管理体制	②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特徴を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援		
				施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ(ボランティア育成を含む)の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？	学習の成果を、学校・地域社会との連携に生かすことができるよう支援を行っているか？
南公民館	53,745	53,820	評価	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B		
			評価の根拠	業者による定期点検を行い、指摘事項について随時対応している。職員巡回や利用者からの指摘により不具合が確認された場合は、随時必要な整備を実施している。 今年度は、主に受水槽ポンプ、換気扇、受変電設備、消防用設備の修繕を行った。また、体育室の音響設備の更新を行った。	地域防災計画、災害対策初動マニュアルのほか、南公民館における危機・安全管理マニュアル、消防計画、非常時連絡系統図を作成している。消防計画に基づき消防訓練を実施している。	公民館貸出基準に基づき適切に対応している。夜間及び休日についてもシルバー人材センター職員と連絡を密にし対応している。	自治会、老人クラブ、社会福祉協議会、青少年健全育成会、ガーデニング倶楽部及び小中学校と連携を図り、体育祭をはじめ、公民館まつり、各スポーツ大会、花の郵便屋さん及び小中学校のあいさつ運動等の事業を実施している	各団体の会員募集チラシの掲示や講座実施後の団体立ち上げ支援に取り組むなど新規利用者の確保に努めている。館内を整理整頓し利用者が快適に過ごしやすいような雰囲気づくりに努めている。施設の不具合で貸し出しできないことがないよう点検に努めている。	夕方以降と土日祝祭日を中心に、一般の学生や若年層の体育室でのバスケットボール・バレーボール等の利用が多い。令和8年度より一般利用者也ネット予約できるように変更する。	電話や窓口での問い合わせ等について迅速かつ適正に対応している。	講座終了時にアンケートを実施し住民のニーズの把握に努め、講座の見直しを図っている。歴史めぐり講座などについて参加者から好評を得ている。	公民館運営審議会や各種団体等の意見を反映させながら円滑に実施している。事業の企画や運営には、自治会や体育・文化教養部員のほか、利用団体等の地域住民が参画している。	みなみガーデニング倶楽部と公民館、自治会及び民生・児童委員が連携し、花の郵便屋さん事業等花を活かした地域活動に取り組んでいる。	家庭教育アドバイザーを講師に招き、家庭教育学級を実施している。人権問題研修会は、各地区PTA支部長、民生児童委員、自治会長参加で実施した。	ボランティア養成講座等は実施していないが、みなみガーデニング倶楽部をはじめとした地域活動グループの支援を行っている。	青少年を対象に社会体験事業を行っている。主に、高齢者を対象に健幸教室を実施している。老人クラブ連合会を中心にワナゲ大会などの世代間交流事業を行っている。みなみふれあい広場では幼児と保護者が一緒に参加している。今年度はワナゲ大会及び幼児事業では、芋ほり等を実施した。	公民館活動の地域への発表の場として、公民館まつりを開催している。各サークル、学校及び自治会等が参加し、地域の連携が深まっている。家庭教育学級や人権問題研修会を開催し、参加者から地域のかたへの啓発がなされている。
			今後の課題	建設から27年が経っており故障箇所について、随時対応が必要になる。今年度より生涯学習スポーツ振興課と施設維持について協議を始めている。	各種計画やマニュアルに基づき時代に沿った危機管理体制を整えていく。災害時に迅速・的確に対応できるよう、定期的な訓練を継続する。	令和8年度より新しい施設予約システムとなり操作等を習得している。	引き続き地域の諸団体と連携を図り、円滑な事業の推進に取り組む。	魅力ある講座の実施や新規利用促進の取り組みを継続していく。利用者に不都合がないよう適切な施設管理を継続する。	一般利用者のかたが継続して利用されるよう適切なサービス提供に努める。	今後も適切なサービスの提供に努める。	今後も住民ニーズの把握に努め、魅力ある講座の実施に努める。	地域の協力を得ながら事業運営を進めるとともに、各団体等との連携を継続する。	花を活かした事業等により、地域と小中学校との連携や活動を推進する。	今後も時代に沿った適切なテーマで実施していく。	今後、地域活動グループの発足があれば支援する。	今後も年齢や性別を問わず、幅広い方が参加し楽しめる事業を実施する。6月のジャガイモ・11月のサツマイモ堀り体験は、参加者から大変好評をいただいており、事業の継続を検討する。	今後も学習の成果を発表する機会を提供するとともに、地域や学校との連携が図れるように支援する。
岡部公民館	71,611	88,592	評価	A	A	A	A	A	-	A	A	B	B	A	B		
			評価の根拠	今年度は、緊急修繕が多くあったが、その都度迅速な対応を行った。また、必要に応じて掲示物を作成し、周知するなどの対応をした。	消防訓練では、公民館職員だけでなく、支所職員や図書館職員が参加し、担当者を振り分け、利用者を交えた訓練を実施した。	利用者からの問い合わせや苦情等に関して、職員間で必ず情報共有をし、必要に応じてマニュアルを作成するなど、迅速・丁寧・適切な対応を心掛けた。	自治会、社会福祉協議会、青少年健全育成会等の地域団体と協議・連携をし、地域に密着した事業展開を図った。	稼働率の低い「調理実習室」を活用した事業を開催した。アンケートや要望を把握し、利用者が快適に利用できるよう、備品の購入やマニュアル作成など対応を行った。	主に体育室や多目的室(中)、多目的室(大)の利用が増えていると感じる。また、地区住民を対象とした事業を開催することで、一般利用の促進を図っている。	-	講座終了後にアンケートを実施しており、参加者のニーズに考慮した。人気のある「クリスマスケーキ作り教室」の参加人数には限りがあるため、昨年度と同じメニューにして、昨年参加された方の申込み開始日をずらすなどの工夫をし、新規参加者の向上を図った。	スポーツフェスタ岡部を、体育部員と深谷市老人クラブ連合会岡部地区の協力により開催した。公民館まつりは、初となる「おかべマルシェ」が公民館まつりとコラボするほか、教養部員や登録団体の協力により開催した。	初となる、おかべマルシェと公民館まつりのコラボ開催を行った。公民館まつりの芸能発表で、岡部中学校吹奏楽部に演奏を披露していただいた。また、岡部地区の青少年健全育成会事業として、おかべ幼稚園・おかべ保育園、岡部地区小中学校の作品展を実施した。	親子参加事業として「親子手作りビザ教室」や、岡部地区の小中学校PTAを対象とした家庭教育学級「親の学習」を開催した。	人権研修会を2回開催した。また、登録団体に、ミニアートギャラリーの展示に協力していただいた。	「キッズサイエンス」や新規事業となる「親子バスツアー」を開催した。また、岡部地区障害者施設にミニアートギャラリーの展示に協力していただいた。	活動の成果を発表できる機会として、「公民館まつり」を開催した。また、中学生の学習支援として、テスト期間中は空き室を開放し、学習の場として提供した。
			今後の課題	引き続き、事故防止のため、施設・設備の点検を継続的に実施し、早期発見や修繕に努める。	災害時に、迅速かつ的確な対応が出来るよう、定期的な訓練実施を継続する。	引き続き、職員間で情報共有をし、迅速・丁寧・適切に対応する。	引き続き、地域諸団体との協議・連携し、地域の実情に即した事業の推進に努める。	今年度は利用率が昨年度に比べて高くなっていると感じる。引き続き、稼働率の低い部屋の活用や、利用者が快適に利用できるよう努める。	公民館だよりや館内掲示、窓口での周知に努める。	-	引き続き、講座終了後にアンケートを実施し、参加者のニーズを考慮する。また、次年度は新規事業を予定している。	各種団体と連携をさらに強化するとともに、多くの住民に参画していただけるよう環境を整える。	引き続き、各種団体と連携を取り、地域の特徴を生かした事業展開に努める。	参加者の増加と内容の充実を図るため、社会教育指導員をはじめ関係者との調整を行い、開催する。	地域で活動する団体との連携と、支援方法を検討する必要がある。	年齢や性別を問わず、障害のある方も一緒に参加のできる事業を検討する必要がある。	地域活動団体や保育・幼稚園、小中学校等との連携をさらに深め、地域の一体感を醸成していく必要がある。

令和7年度 公民館自己評価表

評価 = A 十分に達成している B ほぼ達成している C あまり達成していない D 達成していない																	
公民館名	年間利用者数 (人)		評価項目	1 施設の管理・運営について					2 公民館事業について								
				①施設の管理体制	②利用者への対応	③地域の諸団体との連携	④利用の促進	⑤行政サービスの提供	①講座の見直し	②事業への住民参画	③地域の特色を生かした事業の実施	④家庭教育学級の実施	⑤地域活動グループの支援（ボランティア育成を含む）	⑥青少年等を対象とした事業の実施	⑦地域活動への支援		
	令和6年度	令和7年度		施設・設備の点検整備を計画的に実施しているか？	災害時マニュアルを作成するなど危機管理体制が整っているか？	職員は利用者からの問い合わせや苦情等に対して適切に対応しているか？	地域コミュニティの主体的な活動の拠点として、自治会等地域の諸団体との連携が図れているか？	各室の稼働率を向上させるための工夫を行っているか？	公民館利用登録団体以外の地区住民等の一般の利用が図れているか？	行政センターのある公民館については、サービスを適切に提供しているか？	住民ニーズを把握し、講座の見直しを行っているか？	公民館の主催事業等の企画や運営に公民館利用者や住民が参画しているか？	それぞれの地区の特徴を生かした事業を積極的に取り入れているか？	公民館の設置の目的の1つである家庭教育支援のための学習を行っているか？	地域活動グループ（ボランティア育成を含む）の養成のための講座や研修を実施しているか？	青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促す事業を行っているか？	学習の成果を、学校・地域社会との連携に生かすことができるよう支援を行っているか？
川本公民館	97,859	99,911	評価	A	A	A	A	A	-	B	A	A	B	A	A	A	
			評価の根拠	利用者の安全や事故防止のため、毎朝施設内の点検を行い、早期発見に努めている。カウンター上部、事務室内に照明を追加し照度環境を向上した。	「深谷市地域防災計画」、「災害対策初動マニュアル」を作成している。また、公民館、支所、図書館職員を含め消防訓練を年2回実施している。	浴室や大広間での救急対応が増え、休日対応のシルバー職員、浴室職員を含め不慮の事故等に迅速に対応した。また、利用者からの問合せ（施設故障等含む）には適宜対応している。	自治会、福寿会、青少年育成会、小中学校と連携しスポーツ文化祭や公民館まつり、ウォーキング事業等を実施している。	利用調整会議を実施し、各団体が重複しないよう調整した。また利用希望が重なった場合は代替可能な部屋の提案をし、より多くの団体が利用できるよう調整した。	学習室、交流ストリートは、地区内・外の児童・生徒、学生及び一般の方の利用が大幅に増えている。また、まゆ玉作りを始め、館内にイベント報告コーナーを設置し来館者へPRしている。	-	アンケートや聞き取りを実施し、参加者の意見やニーズを把握し、事業に反映している。	自治会や関係団体（体育教養部員、世代間交流委員、子育て支援サークル等）と連携し企画から運営まで実行できた。6年ぶりにスポーツ文化祭も開催できた。	家庭教育アドバイザーを招き、保護者を対象とした「親の学級」を実施した。	自治会を対象とした人権研修会を実施した。また、防犯パトロール、子育てサポーターの募集及びボーイスカウトの活動支援を行った。	乳幼児と保護者対象のクリスマス会、高齢者を対象に福寿草大学など幅広い年代が参加交流できる事業を実施した。	日頃の公民館活動の学習の成果の発表の場として「公民館まつり」を開催した。	
			今後の課題	法令点検含め、引き続き日々の点検を行い、不具合等の早期発見に努める必要がある。	災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう定期的な訓練を継続していくとともに、休日、夜間のシルバー職員とも情報共有と連携を図り、適切な対応ができるよう努める必要がある。	引き続き、利用者にとって親身で分かりやすい対応に努め、苦情や緊急事態があれば適切かつ迅速に対応する必要がある。	地域の諸団体とより一層の連携を図り、円滑な事業の推進に努める必要がある。	インターネット予約やオンライン決済ができる新予約システムの周知を図り、より一層の稼働率の向上を図る必要がある。	事業の予告等の館内掲示、公民館だよりや窓口でのPRをより一層行い、一般利用者の利用促進を図る。	-	人気講座は継続しつつ、新たな事業を展開する必要がある。	今後も多くの地域住民に参加していただけるよう公民館、関係団体等の意見を取り入れながら魅力ある事業展開をしていく必要がある	指導者の高齢化が進んでいるため後継者を育成しながら、地域の伝統文化を継承していけるよう事業を実施する必要がある。	参加者を増やすため学校・PTAと連携を図りながら内容や開催時期を検討していく必要がある。	地域で活動するグループの把握に努め、必要な支援や養成方法など検討していく必要がある。	事業によって参加者数が少ないこともあったため、より多くの方が参加したくなるような交流事業の検討が必要である。	公民館利用団体等の専門知識や技術などを学校や地域社会と連携させるしくみが必要である。
花園公民館	44,875	51,632	評価	B	A	A	A	A	-	A	A	B	B	A	A	A	
			評価の根拠	公民館の施設・設備の点検を業者委託により実施し、点検結果により必要な修繕を行った。今年度は、雨漏り修繕、庁舎裏北西休憩室空調設備修繕、館内照明器具交換、調理室排水管清掃等を行った。また、施設管理として昨年度に引き続き、樹木剪定を実施した。	災害応急対策マニュアルや花園公民館消防計画に基づく体制を整備し、公民館利用者を含めた訓練を実施した。また、避難所開設手順書などにより危機管理に備えた。公民館職員と花園総合支所職員の避難所開設連絡網（口ゴチャット）を作成し、情報共有が円滑に行えるようにした。	利用者からの問い合わせは、適切に対応を行った。また今年度から、セルフモニタリングという形で、利用者へ約1ヶ月間のアンケート調査を実施した。	各自治会をはじめ、地域の各関係団体や公民館の利用団体と良好な関係を保ち、各種事業の実施や参加協力などの連携を図った。	施設内の整理整頓や清潔さを保ち、利用できる備品や貸部屋の特徴など、丁寧な説明により利用の促進に努めた。また、公民館事業や公民館を利用した講座などの活動状況の情報を発信し、施設利用の促進を図った。今年度は、積極的に深谷市の公式LINEに公民館事業の投稿を行い、市内に広く周知するなど各教室等の定員割れ解消に努めた。	地区住民等の少人数や個人の利用は、スポーツ練習や体操、ダンス、調理や音楽活動、その他会議などで利用していただいた。また、今年度から館内に学習スペースを設置し、地区住民の公民館利用の促進を図った。公民館利用の問い合わせに対しては丁寧な説明を心掛けた。	-	各学級講座の終了時にアンケートを実施し、意見やニーズを把握し、実施内容を工夫し実施できた。料理教室やお菓子作り教室など、好評な教室については、複数回実施した。	公民館事業の実施にあたり、各団体等の意見を反映させながら企画を行った。昨年度に引き続き、地区体育祭と公民館まつりを開催することができ、自治会や体育、教養部員、公民館利用団体等の多くの地域住民に協力をいただくことができた。	家庭教育学級として、家庭教育アドバイザーを講師に招き、保護者を対象とした「親の学習」、親子参加の事業として「親子料理教室」を実施した。	自治会役員を対象とした人権教育研修会等の実施及び公民館ガーデニングボランティアの活動とボランティアへの花苗支援を行った。また、地域の防犯活動として青色防犯パトロールを実施するにあたり、活動支援を行った。	小学生対象の「夏休みわんぱくランド」事業や絵画教室、高齢者対象の幸齢者学級、乳幼児とその保護者対象に七夕まつりやクリスマス会等を実施した。また、公民館まつりにおいて、障害者のかたに作品展示に参加していただいた。今年度については、福祉施設との交流事業として、花園地区社会福祉協議会主催による「風船バレーボール大会」を実施した。	公民館利用団体等が日頃の学習や活動成果を発表できる場として「公民館まつり」を開催した。公民館まつりの作品展示では、小・中学校の児童生徒の作品も展示し、多くのかたに見てもらうことができた。	
			今後の課題	不具合等の発生が増加しているため、施設・設備の状況をよく把握し、計画的なメンテナンスを必要とするが、修繕を必要とする場合は利用者への影響を考慮し、迅速に対応する必要がある。	避難訓練は継続して実施する必要がある。また、災害時の行動について、休日、夜間でも迅速、的確に対応ができるよう職員間の情報共有を図り、準備しておく必要がある。	休日、夜間のシルバー職員とも情報共有、連携を密にし、適切で丁寧な対応に努めていく。また、セルフモニタリングで得られた意見を反映させていく。	引き続き、各種団体等との協力体制、連携を図りながら、地域コミュニティの推進に務める。	引き続き、各種講座や公民館事業において、公民館の利用方法や特徴などを積極的にPRし、新たな団体の立ち上げや個人利用に繋がる情報を提供する必要がある。	引き続き、公民館だよりや館内掲示、窓口での利用促進を図るとともにSNSなどを活用した情報発信もおこない、広く一般の方が利用できるよう適切な対応に努める。	-	今後もアンケートなどを参考にニーズに合った講座を企画し、満足度の高い講座を開催したい。	今後も関係役員、団体等の参画が必要であり、良好な協力体制を整えておく必要がある。	引き続き、地域の文化や自然等の地域資源活用を念頭に、特色ある事業展開を検討する必要がある。	ここ数年、参加対象者を絞って「親の学習」を実施している。多くの保護者が参加できるような内容の充実、実施時期や開催方法を検討する必要がある。	地域活動グループの把握に努め、活動支援の方法等を検討していく必要がある。	年齢や性別を問わず、幅広く参加でき、交流できる事業の検討が必要である。	活動成果を発表できる機会が減少しているため、公民館事業だけでなく、発表できる機会があれば、積極的に情報提供を行っていく必要がある。